

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	T X 駅周辺放置自転車防止対策事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	道路管理課			
施策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保		主管課長	染谷 祐治			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	T X 3駅周辺における放置自転車	意図	放置自転車の撲滅。
事業内容	T X 3駅周辺の放置自転車禁止区域を巡回し、放置しないよう指導するとともに、放置された自転車に対し移送警告書の貼付け、一時保管場所への移送等を行い、良好な生活環境を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成17年 T X 開業以降、年々駅利用者が増加するなか、必然的に自転車利用者も増加してきている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		放置自転車台数（T X 沿線3駅）	256	158	94	台	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						放置自転車対策については、委託業務により一定の事業効果は達成できているものの、年々増加する駅利用者ならびに自転車利用者への自転車駐車場の確保が課題となっている。安定的な自転車駐車場の運営を図るため、用地取得や長期賃貸借契約について継続して交渉を行っていく。
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		11,586,682	12,616,014	12,721,915			
事業費（b）（円）		9,568,782	9,521,314	9,425,915			
うち一般財源		9,568,782	9,521,314	9,425,915			
職員給与費(c)(円)		2,017,900	3,094,700	3,296,000			
人役・職員(人)		0.20	0.40	0.50			
人役・再任用(人)		0.20	0.10				
人役・臨職(人)		0.10	0.10				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	関係機関と連携し、駅前放置自転車クリーンキャンペーン等の啓発を継続することにより、放置自転車の撲滅を図る。	取組における課題(Check)	キャンペーンや広報等の啓発活動を継続的に行い、放置自転車撲滅による、快適かつ安全な生活環境の整備に努める。
H30に実施した取組(Do)	業務委託により駅周辺の巡回等を行ったほか、駅前放置自転車クリーンキャンペーン等の啓発活動を行い、放置自転車の撲滅に努めた。	課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	関係団体との連携の強化、駅周辺の巡回強化等により、放置自転車の撲滅に努める。